

給食だより 6月号 キャー・ 日本 1日 日本



食べることはごく当たり前のことで、「かんで飲み込む | という動作を意識しながら

食べている人はあまりいないかもしれません。ですが、食べ物の形状によっては、よ ちっそく きけんせい

くかまずに飲み込んでしまうと窒息する危険性があります。 給 食を安全においし いかき

く食べるために、以下のことに気をつけましょう。

















埼玉県では食育月間に合わせて「彩の国ふるさと学校給食月間」として、地元産の食材を取り入れた給食 ていきょう おこな じちとさんしょくざい きょうとしょく りかい ふか かつどう すいしん さいにまけんさん しょくざい 提供などを行うことで、地元産食材や郷土食への理解を深める活動を推進しています。埼玉県産の食材は、 裏面の献立予定表に太字で示されています。

かみひらしょう かっとう

ご近所の平野農園さんが生産したお米を月1回給食で使っています。今月は28日のコーンピラフです。

「人生100年時代」といわれるようになりました。生涯にわた

って、心身ともに健康で生き生きと暮らしていくために、あらゆる せだい ひと た ちから み ひつよう

世代の人が「食べる 力」を身につける必要があります。特に、子 たい けんぜん こころ からだ つちか ゆた にんげん

どもたちに対しては、健全な心と体を培い、豊かな人間 せい はぐく きそ しょくいく かてい がっこう ちいき 性を 育 んでいく基礎となる「食 育」を、家庭・学 校・地域が れんけい すいしん

連携し、推進していくことが重要です。

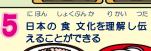
●生きる上での基本であって、知育・徳育 および体育の基礎となるべきもの

●さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」 を選択する力を習得し、健全な食生活を実践する ことができる人間を育てること

しょく いく そだ

食育で育てたい「食べる力」











しょく いく

ージ別に見る食育の取り組み

- 緒に食べたい人がいる





食べる意欲の基礎をつくり、 食 の体 験



食の体験を深め、自分らし しょくせいかつ じつげん い食生活を実現する





健 全な 食 生 活を実 践し、次世 だい つた 代へ伝える

高齢期

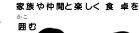


だい しょくぶんか しょく かん ちしき けい 代へ 食 文化や 食 に関する知識や経

験 を 伝 える



買い物や 料 理など、 緒に 食事の支度をする



かぞく なかま たの しょくたく

